

委員長所信

一般社団法人 下妻青年会議所
青少年育成委員会
委員長 家所 佳紀

近年の急速な経済社会の進化に伴い、少子化、核家族化など家族の在り方も大きく変化しました。その中で私たちが青少年期に自分で考え、体験し、成功と失敗を繰り返すことで培ってきた健全な心の育成が、現代希薄になっていると感じます。いつの時代も子供は宝であり地域の希望です。社会が守るべき存在である子供たちと、心身を使うことで得られる感動を共に学び、明るい未来をつくる為に夢と希望溢れる青少年の育成が必要です。

本物の知識というものはすべて直接体験する中で生ずるという言葉があります。未来を担う子供たちに豊かな自然を直接体験する場を提供し、発想力や応用力、想像力を共に学び、自然の素晴らしさを同年代の仲間と共有することで、全てのものに感謝と畏敬の念を持つこと、そしてかけがえのない、友情という尊さを育み、何年たっても心に残る事業を開催いたします。継続事業については、知勇兼ね備えた青少年の育成を目標に事業を開催いたします。オセロ大会では、知力の限りを尽くし仲間たちと真剣に対戦すること以上に大切な出会いと絆を築き、明るい未来を担う青少年の育成を目指します。わんぱく相撲では、子供たちに心身の鍛練と礼儀作法を学び、先輩が紡いできた伝統を踏襲しつつ、更に進化した事業にするべく新たな視点を加え、劣勢でもあきらめない心と慈悲の思いやりに満ちた青少年の育成を目指します。下妻特別支援学校の催事については、多くのメンバーで積極的に参加し地域との連携を図っていきます。クリスマスパーティーを企画・実施し、メンバー間の交流はもちろん、家族団欒のひとつきを過ごして頂けるパーティーにします。

子供たちの笑顔は大人にも生きる活力を与えてくれます。また、未来ある子供たちの成長を見届けることで、新たな責任と気付きが生まれます。一生懸命に取り組む子供たちと笑顔で事業を展開し **Positive change** することで明るい未来が来る事を確信いたします。

[事業計画]

1. 青少年に関する事業の実施
2. わんぱく相撲の企画・運営及び今後の展望の模索
3. オセロ大会事業の実施
4. クリスマスパーティーの企画・運営
5. 下妻特別支援学校催事への協力
6. 日本、関東、茨城の何れかに出向